

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
国際ビジネス公務員大学校	昭和59年3月1日	中野 寿郎	〒963-8002 福島県郡山市駅前一丁目12番2号 (電話) 024-934-4405 024-922-4167																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人 新潟総合学院	平成7年3月24日	池田 祥護	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通一番町494番地3 (電話) 025-210-8565																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
商業実務	商業実務専門課程	スポーツビジネス科	平成28年文部科学省告示 第19号	-																		
学科の目的	本校は、商業実務関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を育成することを目的とし、推薦学科であるスポーツビジネス科においては、日々変化するスポーツ業界に柔軟に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、企業等との連携により、より実践的な人材の育成を目的とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	1720時間	724時間	88時間	908時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
40人	22人	0人	1人	9人	10人																	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習成果、出席状況、授業課題、授業態度などを点数配分し、総合点が80点から100点→A、70点から79点→B、60点から69点→C、0点～59点→Dを基準に成績の評価を行う																		
長期休み	■夏季: 7月20日～8月31日 ■冬季: 12月21日～1月 7日 ■春季: 2月11日～4月 6日		卒業・進級条件	卒業・進級のためには以下2つの要件をすべて満たしている必要がある。 ①総出席率9割以上 ②科目評価C以上または認定																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談、保護者面談、欠席者に対する補習等を適宜実施		課外活動	■課外活動の種類 ・ボランティア活動 ・球技大会実行委員 ・学園祭実行委員 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) スポーツ業界、スポーツジム、スポーツクラブ、スポーツ用品店等 ■就職指導内容 スポーツ業界の研究を重ね、一般的な就職活動(履歴書作成・面接指導)と希望職種条件とのマッチング ■卒業者数 : 7 人 ■就職希望者数 : 7 人 ■就職者数 : 7 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AFAA PC</td> <td>③</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級</td> <td>①</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>アスリートフードマイスター</td> <td>③</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AFAA PC	③	7	7	フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級	①	7	2	アスリートフードマイスター	③	7	5
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
AFAA PC	③	7	7																			
フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級	①	7	2																			
アスリートフードマイスター	③	7	5																			
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成31年4月1日時点において、在学者 22名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者 22名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任をはじめ全教員で学生情報を共有し、定期的な個別相談の機会を設けている。また適時スクールカウンセラーによる心理相談も実施している。 ・欠席が多い学生に対しては保護者と連携し、家庭と学校とでサポートしている。 ・学業不振の学生には個別で補習を行い、授業に遅れないようフォローしている。																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(高校在学中の成績・取得資格等に応じて入学金・授業料を免除) 免除金額 50,000円～300,000円 ・進級時特待生制度(進級前年度の成績・出席状況に応じて授業料を免除) 免除金額 50,000円～100,000円 ・キャリア支援特待生制度 免除金額 50,000円～150,000円 ・一人暮らし支援特待生制度 免除金額 200,000円～400,000円 ・無利子奨学金制度(貸与奨学金) 貸与金額 高校新卒者:年額300,000円 高校既卒者:年額1,000,000円 ・学費分割納入制度:納入学費の支払いスケジュールを月々の支払いへ変更 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																					
当該学科のホームページURL	URL: http://www.jo-bijp																					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

スポーツ・ビジネスの分野で活躍できる、より実践的な人材を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、現在実務に従事する非常勤講師の講義(座学・実習)のほか、すべての在學生は企業連携のもとで2年次にプロスポーツ(サッカー、バスケット等)のイベント運営に携わるとともに、実際に企画立案等のノウハウ等も座学で学び、イベント運営も手がけられる人材の育成を目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会の目的として「教育課程編成の改善」を主とするため、教務部の指導・助言機関として位置づけ、委員会での協議事項を学校管理者で検討し、さらに本校及びグループ校の意見等を取り入れながら教育課程へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 靖弘	かがみいしスポーツクラブ 理事長	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	①
木原 大志	ゼビオ株式会社 ゼビオスポーツエクスプレスアティ郡山店 店長	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	①
大森 博隆	株式会社ルネサンス スポーツクラブルネサンス郡山支配人	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	①
中野 寿郎	国際ビジネス公務員大学校 校長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
菅野 浩二	国際ビジネス公務員大学校 教務部長	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	
菊地 雄之介	国際ビジネス公務員大学校 スポーツビジネス科 担任	令和元年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

委員会は、原則として(7月)及び、年度末(11月)の年2回は、必ず開催する。また、業界動向の変化や学科の状況等により、必要性に応じて適宜開催する。

(開催日時)

第1回 令和元年7月18日 14:00～15:00

第2回 令和元年11月14日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

令和元年度の委員会意見より学生のSNS集客を考えさせる時間を増やしてはどうかと意見をいただき、令和2年カリキュラムにSNS運用についての講義を導入。学生自らSNSアカウントの運営を実施。学生はSNSより学生自身(運営側の意図)と顧客側の受け取り方に差があることを認識。今回委員会の意見を導入することにより学生は一方向からの視点だけでは成功につながらないことを実践で学ぶことができ、意識改革につながった。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において即戦力となる、イベント企画力と運営に長けた人材育成を目指す。よって、座学中心のイベント企画の学習と、企業連携によるイベント運営における実習を並行して進める。外部講師より指導を受けながら、学生の企画による校内スポーツイベントも運営し、そのスキルを磨く。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

スポーツビジネス科の授業においては、プロのバスケットボールのイベント運営の実習で得た経験を自らの企画やイベント運営の機会に活かしていく。講義については企業より講師を派遣してもらう。講師には、授業運営、学生指導、学習成果の評価をお願いする。実習においては、連携する企業と協定書を結び、運営指導の現場を提供してもらう。実習を直接担当する連携企業には、指導前のミーティング、プログラム中の指導・助言、実施後の評価をお願いする。その際、学校からの評価表を活用してもらう。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ実習	より実践的な人材輩出をすべく、実際のスポーツ現場にて実習を行い、指導力や販売力を高める。実習後、連携先より評価表を提出いただき評価とする。	セントラルフィットネスクラブ郡山・スポーツメイト・ウィン郡山・ゴールドジム・ゼビオ株式会社
スポーツイベント運営企画	産学官連携で地域のスポーツイベントの運営に参加をし、自らが企画運営を行い実践力を高める。実習後、連携先より評価表を提出いただき評価とする。	郡山市中央商店街・かがみいしスポーツクラブ・棚倉町

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記</p> <p>就業規則第56条(教養研鑽)、第57条(養育)等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。保育の専門的知識や技術、さらに質の高い授業、教育力を向上させるため研修の充実を組織的に実施する。また、この基本方針を達成するために、研修計画を作成し実施する。</p>
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「プロスポーツチームにおけるATの役割」(連携企業等: 福島ファイヤーボンズ)  期間: 令和元年5月17日(金) 対象: スポーツ業界に携わる社会人  内容: プロスポーツチームにおけるATの仕事内容、必要知識などについて学ぶ</p> <p>研修名「プロスポーツチームHCについて」(連携企業等: 福島ファイヤーボンズ)  期間: 令和元年6月7日(金) 対象: スポーツ業界に携わる社会人  内容: 監督という立場から見たスポーツチームのあり方、指導のコツについて</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「就職指導者研修」(連携企業等: キャリアリバー)  期間: 令和元年11月22日(金) 対象: 就職年次生担当教員  内容: 早期内定に導くための指導方法について、ビジネスマナーや立ち居振る舞い面接指導の仕方等も含め外部講師より研修を実施</p>
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「アシスタントコーチという職業」(連携企業等: 福島ファイヤーボンズ)  期間: 令和2年6月7日(金) 対象: スポーツ業界に携わる社会人  内容: ACという立ち位置、スポーツチームのあり方、ACはプロチームのパイプ役であるべき 等</p> <p>研修名「中央公民館 市民学校 必勝! ボディメイク&amp;ダイエット術」(連携企業等: 郡山市中央公民館)  期間: 令和2年10月7日(水) 対象: 郡山広域圏在住または在勤の方  内容: 運動生理学(講義)・健康トレーニング(実技)等</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「新人教員研修」(連携企業等: 福島県研究研修事業支部委員会)  期間: 令和2年8月3日(月)～8月5日(水) 対象: 専門学校教員  内容: 専門学校に入職した1年目～3年目の教員を対象に教授方法や学生の権利擁護について学ぶ</p>
<p>(別途、以下の資料を提出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 研修等に係る諸規程</li> <li>* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)</li> <li>* 研修等の計画(推薦年度における計画)</li> </ul>

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神 教育理念 教育目的 教育目標
(2) 学校運営	教育の内容
(3) 教育活動	教育の実施体制
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	社会的活動
(7) 学生の受入れ募集	学生支援
(8) 財務	管理運営(法人)
(9) 法令等の遵守	管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11) 国際交流	留学生状況 国際提携校 国際交流活動

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校・評価委員会・本部による点検後の自己点検評価に基づき、不備な点の改善、方向性の決定、優良な点の継続、及び次年度以降の解決・取組課題を具体化し、学校の質保証・向上に努めていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
三部 吉久	税理士法人三部会計事務所 代表社員 所長	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
霜鳥 勉	郡山商工会議所 事業開発部 部長	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
影山 幸一	福島交通観光株式会社 郡山支店 課長	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生
秋葉 啓一	ハマツ観光株式会社 営業統括 支配人	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
佐藤 靖弘	特定非営利活動法人 かがみいしスポーツクラブ 理事長	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
太田 善雄	般財団法人 太田総合病院 副理事長	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
山崎 督	城西国際大学 環境社会学部 環境社会学科 准教授	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	学識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) ( )

URL:<https://jo-bi.jp>

公表時期: 令和2年10月末日

(別途、以下の資料を提出)

- \* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- \* 自己評価結果公開資料
- \* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校関係者評価の結果については学校関係者評価報告書としてまとめ、ホームページ等で公表する。報告書の内容については教職員会において周知するとともに、教育課程編成委員会においても説明することで学校としての課題と改善の取り組みを共有し、教育活動や学校運営の改善等に活用する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の精神 校訓 教育方針
(2) 各学科等の教育	資格 就職実績 各学科別カリキュラム
(3) 教職員	専任教員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事 施設・設備
(6) 学生の生活支援	学生寮
(7) 学生納付金・修学支援	学費サポート 特待生制度
(8) 学校の財務	事業活動収支計画書
(9) 学校評価	学校関係者評価報告書 自己点検評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生受入れ状況
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

~~ホームページ~~ ・ ~~広報誌等の刊行物~~ ・ その他( ) )

URL:<https://jo-bi.jp>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程スポーツビジネス学科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コミュニケーション論Ⅰ	情報を的確に評価・判断して取捨選択していく「状況判断力」の取得	1前	32	1	○			○		○		
○			キャリアプランⅠ	就職活動に向けての事前準備（ビジネスマナー、書類作成、報告連絡相談の徹底）	1前	48	2	○			○		○		
○			一般教養演習Ⅰ	就職採用試験に向けての準備（一般教養、SPI）	1前	32	1	○			○			○	
○			レクリエーション実習Ⅰ	バスハイクと球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	1後	20	1			○		○	○		
○			就職研修	就職に対する心構えと挨拶や電話対応の具体的な技術を培う	1前	20	1			○		○		○	
○			販売実務A	仕入計画や商品知識の活用方法から販売計画までを学ぶ	1前	36	3	○			○			○	
○			販売実務B	マーケティング戦略の方法やマーケットリサーチの方法等を学ぶ	1前	36	3	○			○			○	
○			販売実務C	戦略的購買促進のあり方や戦略的ディスプレイの実施方法等を学ぶ	1前	16	1	○			○			○	
○			フィットネス実習ⅠA	AFAA IGFⅠ 実技・筆記試験合格に向けて基礎知識を習得する	1前	48	1			○	○			○	
○			フィットネス実習ⅠB	AFAA IGFⅠ 実技・筆記試験合格に向けて実技指導能力を習得する	1後	48	1			○	○			○	
○			トレーニング実習Ⅰ	目標別、部分別トレーニングの習得	1後	66	3			○		○	○		○

○		スポーツ栄養学	栄養学や身体のしくみについて学び、アスリートに対する栄養・食事管理や指導に関する基礎知識を身に付ける。	1後	32	2	○		○		○			
○		フィットネス・マネジメント概論	フィットネスクラブ・マネジメント技能検定（国家資格）3級取得に向けてクラブの経営管理について学ぶ	1後	76	4	○		○		○			
○		販売演習	ディスプレイ・ビジュアルプレゼンテーションを通して、視覚効果を重要視し、売り場や販売にかかわる幅広い知識・造形・感性・情報等の基礎とテクニックを学ぶ	1前	32	1		○		○			○	
○		スポーツビジネス研究	スポーツ業界で活躍する方々の講話を聞き、業界に興味を持ち、進路選択に役立てる	1前	24	1	○			○			○	○
○		サービス接遇	ビジネスの場でのサービス接遇というものの、偽具体的な考え方、行動の仕方、話し方などについて学ぶ	1後	40	2	○			○			○	
○		就職対策	クラスメイトとのコミュニケーションをとることを学び、基本的なビジネスマナーや就職活動においての基礎的な知識を身につけます	1前	32	1	○			○			○	
○		スポーツイベント運営企画	産学官連携実習としてのイベント企画を行う	1後	66	3			○	○			○	○
○		スポーツイベント運営実習	産学官連携実習としてのイベント企画を運営、実践する	1後	32	1			○		○		○	○
○		マーケティング概論	集客補法として主になりつつあるSNSマーケティングについて学び、自発的、能動的に発信を行えるようになる	1後	16	1	○			○			○	
○		Word実習	文書作成の基本的な編集機能、罫線機能、図形機能を中心に詳細な操作方法を学習します	1前	48	1			○	○			○	
○		PowerPoint実習	マイクロソフトPowerPoint操作方法及び、プレゼンテーション技法を学ぶ	1後	32	1			○	○			○	
○		ボランティア実習	授業で学んだノウハウを活かして、地域のスポーツボランティアに参加する	1前	20	1			○		○	○	○	
○		地域振興事業応援実習	地域のプロチームの応援を通して、スポーツのすごさ、楽しさを体験	1後	20	1			○		○	○	○	
○		コミュニケーション論Ⅱ	情報を的確に評価・判断して取捨選択していく「状況判断力」の取得	2前	32	1	○			○			○	

○		キャリアプランⅡ	キャリア（自分の生き方や働き方）について考え、計画することを学ぶ	2前	48	2	○			○		○					
○		卒業研究	専門学校2年間の学びの集大成として、各自学科の授業内容からテーマを見つけて研究発表をする	2後	48	2	○			○		○					
○		レクリエーション実習Ⅱ	バスハイクと球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	2前	20	1				○		○		○			
○		国際文化研修	異文化体験を通して、グローバル社会に対応できる国際感覚を養う	2後	40	1				○		○		○			
○		トレーニング実習ⅡA	トレーニングマシンの使用方法の習得	2前	66	3				○		○		○			
○		トレーニング実習ⅡB	トレーニングメニューの組み立てを学ぶ	2後	66	3				○		○		○			
○		フィットネス実習ⅡA	AFAA RT取得に向けて解剖学等身体の知識を身に付ける	2前	48	2				○		○					○
○		フィットネス実習ⅡB	AFAA RT取得に向けてトレーニングメソッドの作成ができるようになる	2後	48	2				○		○					○
○		スポーツ栄養演習	広範囲から出題される食に関する正しい知識を身に付け、食生活アドバイザー3級検定の合格を目指す	2前	56	2				○		○					○
○		スポーツビジネス論	スポーツビジネスについての知識の習得 ビジネスの流れPDCAサイクルの習得	2後	64	2	○					○					○
○		スポーツイベント運営企画	産学官連携実習としてのイベント企画を行う	2後	96	3				○		○					○ ○
○		スポーツビジネス研究	スポーツ業界で活躍する方々の講話を聞き、業界に興味を持ち、進路選択に役立てる	2前	24	1	○					○					○ ○
○		ビジネススキル	ビジネス能力検定ジョブパス3級の合格を目指し、自らの職業観や勤労観という概念の形成やビジネス常識など、職業人として身につけておくべき知識を学習	2後	40	2	○					○					○
○		トレーニング概論	NSCA 体カトレーニング検定® 3級取得を目指し、各種トレーニングについての主動筋、連動筋を覚える	2後	32	2	○					○					○



○		スポーツイベント運営実習	産学官連携実習としてのイベント企画を運営、実践する	2後	32	1			○	○	○	○
○		マーケティング概論	集客補法として主になりつつあるSNSマーケティングについて学び、自発的、能動的に発信を行えるようになる	2前	16	1	○		○	○		
○		Excel実習	Excelの基本操作を学び、問題演習を解けるようにする	2前	32	1			○	○		○
○		ボランティア実習	授業で学んだノウハウを活かして、地域のスポーツボランティアに参加する	2前	20	1			○	○	○	○
○		地域振興事業応援実習	地域のプロチームの応援を通して、スポーツのすごさ、楽しさを体験	2前	20	1			○	○	○	○
合計			44科目	1720単位時間(				72単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
90%の出席と科目履修終了により卒業。履修方法は科目の特性に合わせ講義・演習・実習の形式をとる。	1学年の学期区分		2期
	1学期の授業期間		16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。